

# 気づかぬうちに加害者になっていませんか!?

今年も人為的な原因による保護がありました。あなたは大丈夫ですか？



アオサギのテグス害  
被害を防ぐためにテグスひろいの活動なども行われています。

ホンドフクロウ  
野菜ネット被害  
運悪くこうなって  
しまうことも。



ジョウビタキのネズミシート害  
本来の使い方とは異なる結果になることも。  
写真では、粘着部分に紙を張り、  
体にベビーパウダーをかけて被害  
が広がるのを防いでいます。



ドバトのテグス害  
やびを失ってしまう  
ことも少なくあり  
ません。



カイツブリ ルアー害  
くちばしに針が刺さり、  
足に釣り糸が絡まって保  
護されました。



# 野生動物との共生を考えましょう！

野生動物と人が共に生きていく中で、保護されることもあれば、駆除されることもあります。京都でも、ニホンジカ・ニホンサル・イノシシなどの農林業被害が問題となっています。そして、さまざまな立場からいろんな意見があります。このような問題を通して、野生動物との共生について考えるきっかけにしませんか？

## ニホンサル

この時期に保護された場合、社会性を学ぶ機会を失ってしまう。そのため、野生復帰も難しくなる。



## 違法なワナ被害

本来は太さ4mm以上のワイヤーを使用しなければならなくくりわな。このケースでは、食害を防ぐための仕掛けられた可能性が高い。

## 誤認救護

シカは、子どもを草むらに残して餌を食べに行きます。その習性を知らずに誤って保護されてしまうことも。



## ウリ坊

保護・育成すると、どうしても人に慣れてしまう。

# 保護された京都の希少種たち

京都府は、府内に生息または生育する絶滅の恐れのある野生生物種を調査・評価し、レッドデータブックを2002年にまとめています。

救護センターにもその指定種が保護されてきており、その保護原因・保護場所などの情報を蓄積・分析し、保全活動に役立てることもセンターの果たすべき機能の一つと考えています。

絶滅危惧種：絶滅の危機が増大している種



アオバト



アカショウビン



ヨシゴイ

クロジ：写真なし



オオミズナギドリ

ヨシゴイ・オオミズナギドリは野生復帰できたが、アカショウビン・アオバトは残念ながら死亡している。

要注目種：今後の動向を注目すべき種

# 保護された京都の希少種たち

準絶滅危惧種：存続基盤が脆弱な種



アオバズク



チョウゲンボウ



トラツグミ



マミジロ



フクロウ



ハイタカ



カイツブリ



ササゴイ

アオバズク・カイツブリ・ササゴイが野生復帰。チョウゲンボウは飼育ボランティアに引き渡し、トラツグミは動物園で飼育することとなった。

# 放野～自然に帰っていった動物たち～

フクロウの放野



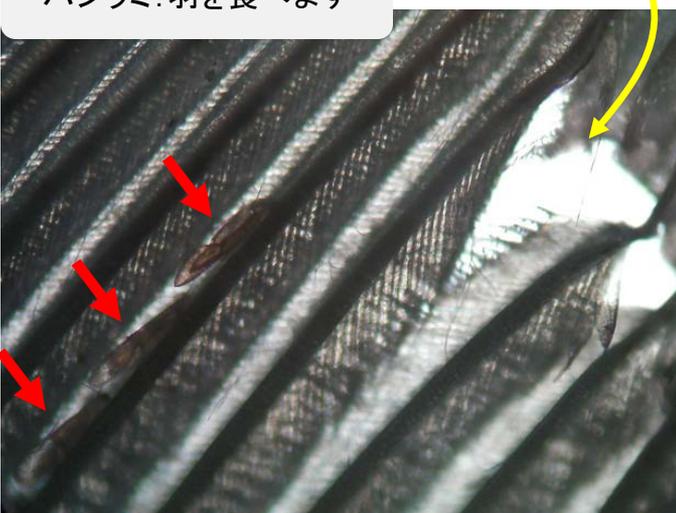
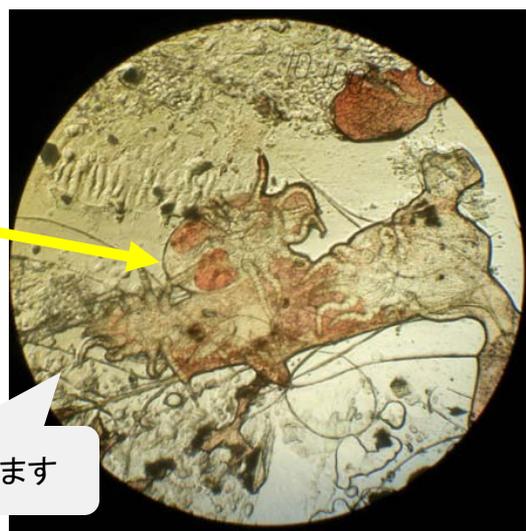
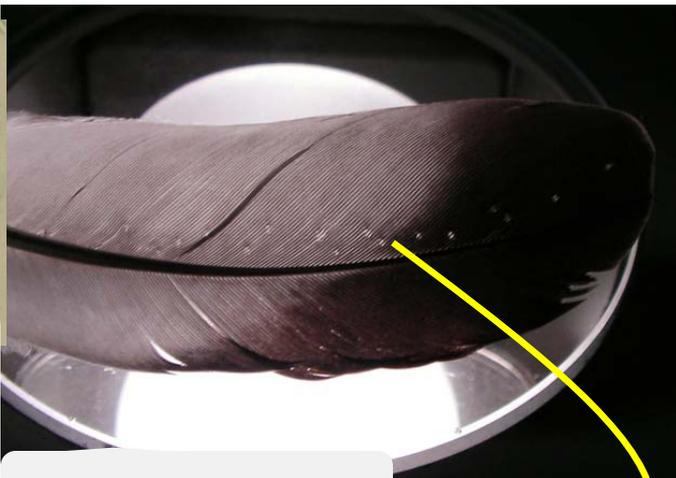
タヌキの放野



救護センターのスタッフが野生復帰が可能と判断した後、京都府職員によって適切な場所で放野されます。保護された地域に戻すことを基本としています。

# 野生動物にはかならず？

保護された野生動物の多くには寄生虫が寄生しています。タヌキで被害の多い「疥癬」以外にもいろいろな寄生虫が見られます。この場合、他の保護動物に感染しないように注意します。



# 衝突事例ではこんなことが・・・

なんか首が変じゃない！？

鳥には気のうという器官があります。このドバトは衝突によって気のうが破れたために、空気が皮膚の下に漏れてこんな姿になっています。自然にふさがるとは待ちますが、あまりひどいときには針を刺して空気を抜くこともあります。



どんなぶつかり方をしたんでしょう？上のくちばしが下のくちばしを突き抜けていました。



頭の骨がくぼんでしまっています。



# 鳥獣救護活動の一環

野生鳥獣救護活動を通して教育普及活動を行っています。  
今年度は、救護事業で協働している鳥獣保護員や農業指導所の方への講演をはじめ、学校の取り組みとして中学生や大学生を受け入れました。また、来園者を対象とした講演やバックヤード見学も行っています。興味のある方は、動物園までお問い合わせください。イベントの開催はホームページでご確認いただけます。

- 2008/8/1 大学生 受入
- 2008/9/5 中学1年生 総合的な学習の時間「調べ学習」
- 2008/9/19 中学2年生 企業訪問インタビュー
- 2008/10/26 救護事業20周年記念講演
- 2008/11/20 中学2年生 総合的な学習の時間  
「未来航路プロジェクト～日本を知ろう～」
- 2008/11/26 京都市野生鳥獣保護協議会研修会「野生鳥獣の取扱について」
- 2009/3/13 中学3年生 動物園における教育と研究について
- 2009/3/21 バックヤードツアー



# 問い合わせ先

○京都府農林水産部森林保全課野生動物対策室  
(飼育ボランティア申請の相談)

電話075-414-5022

○京都市産業観光局農林部農業振興整備課  
(害獣駆除および傷病鳥獣捕獲に関する相談)

電話075-222-3352

○京都市動物園

電話075-771-0210

(動物の飼育・診療に関する相談)

